

特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

平成 22 年度事業報告書



平成 23 年 5 月

はじめに

平成 22 年度しみん基金・こうべでは、新たに「次代の市民活動の担い手育成」を重点テーマとして掲げ助成事業を実施し、8 団体へ総額 3,046,000 円の助成金を交付いたしました。また、10 年目となる委託事業はあ～とふるファンド支援事業も、継続してはあ～とふるふぁんど委員会より受託しました。

さらに、ファンドレイジングの面では、引き続き他団体との協働事業として「こうべi ウォーク」を実施しました。

また、市民公益活動に対する税額控除制度が議論される中、平成 23 年 1 月には設立 10 周年記念事業の一環として、顧問の新野幸次郎先生にお願いして、「これからの市民社会に求められることは？ 寄付の社会的意義について考える」と題して講演会を開催、寄付と税金の在り方について参加者とともに考える機会を提供しました。

阪神淡路大震災から 16 年が経過し、当基金も 10 年間の経験の蓄積を通して、「絆」をつくり繋いでいく役割の一端を担ってきました。そして今、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、たくさんの人々の命とくらしが苦境に立たされています。これからの時代も、より一層の「絆」の再生と創造が求められることになるでしょう。今後も、これまでの経験に基づきながら、社会的な課題解決に大きな役割を果たしている市民活動を地域の中で育てていくために、当基金自身の社会的価値もさらに見つめ直しながら、研鑽を積み重ねて参る所存でございます。

皆様方からの更なるご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ
理事長 黒田 裕子

目次

1 寄付・募金活動

ア) 寄付金・募金受入	4
イ) イベント募金	5
こうべい-ウォーク 2010 < 協働 >	
ウ) 協働企画型寄付システム	5
リサイクル寄付 < 協働 >	
まけないぞう寄付 < 協働 >	
書籍寄付 < 協働 >	

2 助成事業

ア) 本体助成	6
イ) はぁ～とふるふぁんど支援事業 < 受託 >	8

3 啓発・講座事業

ア) 新野幸次郎氏講演会	9
イ) NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座	10

4 運営管理

ア) 広報・情報発信	10
イ) ネットワーク活動等	10
ウ) スタッフ研修	11
エ) 会議	12

1 寄付・募金活動

ア) 寄付・募金受入

以下のみなさんより寄付金を頂きました。(敬称略・順不同)

被災地 NGO 協働センター	井上 由紀子
中谷 豊	高橋 智子
武田 政義	瀬戸口 延恵
財団法人敬愛まちづくり財団	サムライアスリート(株)
山口 一史	鷲本 郁
水野 進太郎	橋長 恒雄
社会福祉法人兵遊協社会福祉事業協力会	太田 達男
島田 誠	山木 康夫
復興支援コンサート実行委員会	こうべ・i - ウォーク 2011 実行委員会
尾西 秀敏	中島 秀男
オレンジスリフティ	愛蓮・塚口店

総額 ￥ 2,111,778

皆様方のあたたかいお志に心より感謝申し上げます。

イ) イベント募金

こうべi - ウォーク2011 (協働事業)

市民活動を精神的にも資金的にも支援するという理念を次の世代に受け渡す重要なイベントとして開催しました。スタート地点での募金(一口千円)は、当日の経費を差し引いて当基金へご寄付頂きました。

主催: こうべi - ウォーク実行委員会(神戸復興塾(特活)神戸まちづくり研究所、まちコミュニケーション、甲南女子大学、(特活)しみん基金 KOBE)

協力: 近畿労働金庫・地域共生推進室

[実績] 開催日: 平成23年1月9日(日)、開催場所: 大国公園~みくら5、寄付金: ¥107,087

ウ) 協働企画寄付システム

古着リサイクル寄付 (協働事業)

この事業では、環境負荷を抑えるために身近な衣類等のリサイクルの輪への参加を通じて市民の社会貢献意識の定着を図ることを目的として、市民によるボランティア・市民活動を支えるファンドレイジングとしています。

[実績] 提携先: オレンジスリフティ、寄付金: ¥419,984

まけないぞう寄付 (協働事業)

“まけないぞう”とは、タオルをゾウの形をした壁掛けタオルのこと。阪神・淡路大震災以来、各地の自然災害で被災された方が、手を動かしたり、人との関わりが生まれることによって、退屈になりがちなくらしに楽しさと潤いをもたらす「生きがいつくり」協働事業として行っています。つくり手には製作費として1つにつき100円をお渡しして、買った方からの「ありがとう」の声が生きがいにつながるのです。

[実績] 提携先: 被災地NGO協働センター、寄付金: ¥28,820

書籍寄付 (協働事業)

「創造的自治と地域再生」(池田清著、日本経済評論社、2006)や「ボランティアが社会を変える」(似田貝香門編著、関西看護出版、2006)などの書籍を購入することで、売上のうち50円がしみん基金こうべに寄付されます。

[実績] 提携先: 被災地NGO協働センター、寄付金: ¥7,400

2 助成事業

ア) 平成 22 年度本体助成事業

助成の趣旨

しみん基金・こうべは、神戸市を中心とする地域の個人及び市民団体による公益を目的とした活動に対して助成をし、それによって市民団体等の活動を促進し、21 世紀の市民社会にふさわしい魅力と活力のある地域の創造に寄与することを目的とします。

応募対象者

1. 神戸市及び周辺の地域に活動拠点または事務所を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）
2. 自主性を確保し、自律的に運営されている団体
3. 団体としての継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力及び体制を備えた団体

助成金額

平成 21 年度助成事業は助成総額 300 万円を予定した。

助成の区分	一般枠
助成対象分野	活動分野に限定はありません。
助成限度額等	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、金 50 万円を上限とします。（ただし 1000 円単位）
審査選考方法	書類審査を経て、ヒアリング調査を行い、公開審査会によるプレゼンテーションにて選定します。

助成事業の内容

1. 平成 22 年度基本方針：次代の市民活動の担い手育成を重視する。
2. 助成対象期間：平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日までの 1 年間における事業を対象とした。
3. 選考優先事項：助成先選考にあたっては、市民社会の確立・存続にふさわしい草の根性、開拓性・先駆性、団体としての継続性、地域との連携・協働を図るものを、優先しました。
4. 助成対象経費：給料・手当（人件費）福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、物品購入費、消耗什器備品費、消耗品費（事務用品費）修繕工事費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、地代家賃（賃借料）保険料、諸謝金（謝礼金）負担金（諸会費） 交際費は対象外。

申請受付期間 平成 22 年 7 月 20 日（火）～平成 22 年 8 月 31 日（火）

申請受付団体数 一般枠申請件数 70 団体

書類選考（1 次審査）以下の通り、書類選考（1 次審査）を実施した。

開催日時：平成 22 年 9 月 16 日（木）
場 所：しみん基金・こうべ事務局
形 式：理事会にて審議
選考結果：一般枠 18 団体

ヒアリング調査 以下の通り、書類選考した 18 団体の活動拠点を訪問して、ヒアリング調査を実施

した。

期 間：平成 22 年 9 月 24 日（金）～平成 22 年 10 月 9 日（土）

形 式：当基金理事による訪問、ヒアリング調査報告書の作成

公開審査会 以下の通り、選考された 18 団体のプレゼンテーションによる公開審査会を開催した。

開催日時：平成 22 年 10 月 26 日（火）13:00～17:00

会 場：神戸市生涯学習センター（コムスタ神戸）

出席審査員（順不同・敬称略）：

山口 一史（審査員長）、石東 直子、松村 敏明、藤井 英映、相川 康子

河口 紅、鷲本 郁、津久井 進、二木 一夫、中島 淳

助成先決定団体・事業

公開審査会での選考結果を受けて、下表の 8 団体（一般枠のみ）の各事業に合計 3,046,000 円の助成金を交付することを理事会にて決定しました。

区分	番号	団体名	事業名
一般枠	1	（特活）兵庫盲ろう者友の会	盲ろう児教育研修事業
	2	自立援助ホーム 園田の家	自立援助ホーム「園田の家」の運営
	3	NGO ベトナム in KOBE	在日ベトナム人高齢者の充実した生活づくり事業
	4	神戸三田外国人サポートの会	外国につながる児童生徒と保護者への支援事業
	5	（特活）アズイット	人間関係や就労に困難を抱えた障害者の理解と就労支援
	6	（特活）障害者自立センター	特殊車椅子導入と「車椅子海岸定期散歩会」/新「兵庫県全鉄道・海水浴バリアフリー情報 HP 及び冊子設置」
	7	神戸大学学生震災救援隊	自然災害被災地での足湯ボランティア活動の実施と継承・普及
	8	兵庫県震災復興研究センター	『大震災 15 年と復興の備え』による啓発・情報発信事業

草地奨励賞

この賞は、当基金の初代理事であった故 草地賢一氏（阪神大震災地元 NGO 救援連絡会議代表）の草の根市民活動の哲学と業績をたたえ、その遺志を継いでいくため、草の根支援の見地から見て意義のある活動を活発に展開されている団体に対し授与されるものです。公開審査会同日に開催された当基金理事会の審議により、今年度は該当なしと決定しました。

平成 21 年度助成先事業成果報告会

平成 21 年度助成事業（助成対象期間：平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）の締めくくりとして、9 つの助成先団体による成果報告会を下記の通り実施した。

・開催日：平成 22 年 3 月 1 日（金）15:00～17:30

・開催場所：コムスタこうべ

・ねらい：各団体の事業によって得られた社会的な成果を、寄付提供者や審査のプロセスにご協力いただいた皆さんと共有する。

市民活動・ボランティア活動など民間による公益的活動を市民自らの力で支えることの大切さを分かち合う。

各団体報告を傾聴することで新しい気づきや学びと出会いやネットワークづくりのきっかけにご活用していただく。

イ) はぁ～とふるふぁんど支援事業(受託事業)

21世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はぁ～とふるふぁんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、県内の福祉事業及び地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。(はぁ～とふるふぁんど申請書より抜粋)

[支援対象]

兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている5名以上で構成される団体。

[支援金額]

全体の活動費の4分の3相当で、最高100万円。

[受付期間]

平成23年1月17日(月)～平成23年3月18日(金)

[申請団体数]

申請団体数 164団体(うち 48団体に助成予定)

まとめ

本年度第9回目となる事業ですが、引き続き、兵庫県遊技業協同組合・神戸新聞グループで構成される「はぁ～とふるふぁんど委員会」より委託を受けました。昨年より従来の「ボランティアあしすと」部門に加え「地域振興サポート」部門を同時に受付することになりました。申請団体の顔ぶれは年々変化してきていて、本事業が地域に定着してきていると思われます。これは、当基金としても兵庫県内の市民活動の実態を知る上で、大きな財産となっており、今後の助成の方向性を考える為にも貴重な事業といえます。

3 啓発・講座事業

ア) 新野幸次郎氏講演会

この会は、10周年記念事業の一貫として、これからの求められる市民社会像を広く市民のみなさんと共有し、その中でしみん基金 KOBE の果すべき役割を考えるために、「これからの市民社会に求められることは？～寄付の社会的意義について考え直す」と題して、顧問の新野幸次郎氏にご講演頂きました。また、昨年度設置した「検証ビジョン検討委員会」の報告も併せて、以下の通り実施しました。

目的

阪神淡路大震災から 16 年の時が流れました。震災復興のプロセスをきっかけにたくさんの市民によるボランタリーな公益的活動が生まれてきました。しかしながら、そのような活動を市民自らが自発的に知恵とチカラとお金を出し合って支え合うような市民社会になったと本当に言えるでしょうか？ 2009 年、政権交代が実現し「新しい公共」が唱えられ、寄付についてもその基盤づくりや税制見直し論議が始められています。これを機会に、改めて寄付の社会的意義について考え直すことを通して、これからの市民社会に求められることについてご提案を頂きます。

開催概要

- ・開催日：平成 23 年 1 月 29 日（土）14:00～16:00
- ・会場：こうべ市民福祉交流センター 5F
- ・参加費：¥1,000（資料代として）
- ・プログラム：第 1 部 しみん基金・こうべのこれまでと今後の展望 野崎常務理事
第 2 部 記念講演 新野幸次郎氏（(財)神戸都市問題研究所・理事長、当基金顧問）
質疑応答（新野幸次郎氏 & 野崎常務理事）
- ・後援：兵庫県、神戸市

実施状況

- ・内容：
 - 第 1 部 しみん基金・こうべのこれまでと今後の展望
発表者 野崎 隆一（(特活)しみん基金・こうべ 常務理事）
発表資料に基づき、これまでのあゆみと、昨年に開催した「検証ビジョン検討委員会」における検証（成果と課題）内容とそれを受けて定められたこれからの方針（「絆」の大切さ、新しい世代の担い手育成）について説明した。
 - 第 2 部 記念講演
「これからの市民社会に求められることは？～寄付の社会的意義について考え直す」
講演者 新野 幸次郎 氏（(財)神戸都市問題研究所 理事長）
日米両国における個人から NPO 等への寄附金額の差が 20 倍近い開きがある背景として、公共サービスは行政が税金で賄うべきとする日本に対して、個人がまずコミュニティに資金を寄せて、それでも解決ができない規模の問題は行政が税金で解決する（補完性の原則）という米国との考え方の違いを挙げられた。しかし、神戸では大震災以来、NPO 等の市民による「共助」の必要が認識されてきて、「日本でも米国のような NPO 等への寄附分を税額から控除し、納税か寄附かを市民が選べる仕組みが必要」と述べられた。
- ・参加人数：51 名（スタッフを含む）
- ・アンケート結果：回収率 58%、満足度 4.5（5 段階評価平均値）

イ) NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座(西日本地区版)(協働事業)

当基金では初めての講座事業として、NPO 法人パンブリックリソースセンターとパナソニック(株)のご協力のもと、市民活動団体の特色を踏まえたマネジメント支援ができる専門家の育成を目指して、下記の通り標題の講座事業を実施しました。

カリキュラム構成と実施状況

ア) 基礎編(通信講座): テキストの熟読と e - ラーニングによる課題添削で、NPO マネジメントの基礎を学ぶ。(平成 22 年 8 月 2 日~平成 22 年 10 月 25 日)

イ) 実践編(実習+教室学習): 実際の NPO を実習先としてその経営の現状と課題を把握し、受講者によるグループディスカッションなどを通じて、NPO の組織診断の方法論を学ぶ。

平成 22 年度は、NPO 法人マブイ六甲に実習先を引き受けて頂きました。

- ・平成 22 年 10 月 30 日 オリエンテーション
- ・平成 22 年 11 月 13 日 ヒアリング項目抽出(教室学習)
- ・平成 22 年 11 月 28 日 ヒアリング(実習)
- ・平成 22 年 12 月 4 日 SWOT 分析・課題の抽出(教室学習)
- ・平成 22 年 12 月 18 日 診断結果報告会(実習)

実績: 受講者: 7 名、組織診断報告書(対 NPO 法人マブイ六甲)の作成

4 運営管理

ア) 広報・情報発信

ニュースレター発行

第 21 号: 平成 22 年 5 月、第 22 号: 平成 22 年 8 月、第 23 号: 平成 22 年 12 月

ホームページ・事務局ブログ; 随時更新

しみん基金 KOBE 紹介パネル(展示用)の作成

イ) ネットワーク活動等

関西財団の集い 平成 22 年 7 月 28 日 @大阪商工会議所

「公益認定を巡る最近の状況について」 出席: 江口事務局長

KEC アドバイザー派遣事業 主催:(特活)市民活動センター神戸

・アドバイザー派遣:(特活)マブイ六甲(神戸市灘区)

派遣回数: 3 回(平成 23 年 2~3 月)

・会計基準フォーラム: 平成 22 年 8 月 28 日 @あすてっぷ KOBE

・財務診断講座: 平成 23 年 1 月 30 日 @神戸市立総合福祉センター

・中間支援 NPO スタッフ研修: 平成 23 年 2 月 13~14 日 @神戸

・研究会: 8 回(平成 22 年 8 月~平成 23 年 3 月)

神戸市アドバイザー派遣事業 主催:(特活)神戸まちづくり研究所

- ・アドバイザー派遣：(特活) サポートステーション灘つどいの家(神戸市灘区)
派遣回数：5回(平成22年9月~平成23年3月)
 - ・NPO 運営ステップアップ講座：3回(平成22年9月~平成22年12月)
 - ・MTG・ケース検討：6回(平成22年4月~平成23年3月)
関西NPO支援センターネットワーク 主催：(社福)大阪ボランティア協会
 - ・自治ゼミ：「テーマ型組織と地縁型組織の連携」 講師：野崎常務理事
平成22年10月5日 @大阪NPOプラザ
 - ・自治ゼミ：3回(平成22年8月~12月)
中間支援NPOと行政の意見交換会 主催：神戸市役所プラットフォーム
 - ・プラットフォーム各事業の仕分け
 - ・会議出席：4回(平成22年12月~平成23年3月)
NPOと行政の協働会議 主催：ひょうごボランタリープラザ
 - ・「新しい公共支援事業」についての意見交換
 - ・会議出席：3回(平成23年1~3月)
市民ファンド連絡会・準備会
 - ・市民ファンドの全国ネットワーク組織の立ち上げ
 - ・会議出席：2回(平成23年1~2月)
- 参画イベント
- (ア) NPO法・税制改正関西地域学習会
主催：(社福)大阪ボランティア協会、NPO・NGOに関する税・法人制度連絡会
平成22年7月6日 @大阪NPOプラザ 共催団体として参画
 - (イ) 合同助成金説明会
主催：(財)トヨタ財団、(特活)市民活動センター神戸
平成22年10月2日 @あすてっぷ KOBE 助成団体のひとつとして参加
- 講演依頼
- (ア) 平成22年5月9日 主催：(特活)日本ホスピス・在宅ケア研究会
認定NPO法人制度学習会 講師：江口事務局長 @兵庫県民会館
 - (イ) 平成23年1月13日 主催：宝塚市・宝塚NPOセンター @宝塚アピアホール
シンポジウム「宝塚・語りつく震災 絆から生まれたもの」パネル出演：黒田理事長
- その他
- ・平成22年10月6日 長崎市役所都市計画部より視察受入
 - ・平成22年12月~平成23年3月「まごころチョコレート」キャンペーン
六甲アイランド高校「RISOLAB(リソラボ)」と「ボックスン」のコラボレーション仲介

ウ) スタッフ研修

- ファンドレイジングセミナーin大阪 主催：(特活)日本ファンドレイジング協会
平成22年8月2日、平成23年2月7日 @大阪 参加：江口
- 市民セクター全国会議2010 主催：(特活)日本NPOセンター
平成22年11月22-23日 @東京 参加：江口
- ファンドレイジング日本2011 主催：(特活)日本ファンドレイジング協会
平成23年2月5~6日 @東京・日本財団ビル 参加：江口、村尾

工)会議

定時総会

開催日：平成 22 年 5 月 26 日（水）18:30～19:30

開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

出席会員数：26 名（うち委任状提出 14 名）正会員数：42 名

審議事項：（1）平成 21 年度事業報告並びに決算報告

（2）平成 22 年度事業計画案並びに予算計画案

（3）役員（理事・監事）任期満了に伴う改選

理事会

1)平成 22 年 5 月 7 日（金）開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

審議事項：平成 22 年度定時総会付議事項、審査員選任

協議事項：10 周年記念事業「検証ビジョン検討委員会」報告書について

2)平成 22 年 8 月 17 日（火）開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

審議事項：社会福祉法人兵遊協社会福祉事業協力会の理事就任

協議事項：助成事業書類審査及びヒアリング調査の進め方について

3)平成 22 年 9 月 16 日（金）開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

審議事項：一般枠書類選考

4)平成 22 年 10 月 26 日（火）開催場所：コムスタ神戸

審議事項：公開審査会選考結果承認・助成先決定、草地奨励賞選考

協議事項：講演会事業、平成 21 年度助成事業成果報告会

5)平成 23 年 2 月 16 日（水）

審議事項なし

協議事項：平成 23 年度事業計画案の検討、ふるさと納税制度の活用について
今後の会議スケジュール

四役運営会議

1)平成 22 年 4 月 28 日（水）開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

議事内容：10 周年記念事業・検証ビジョン検討委員会：「基本的な方向性」について、
平成 22 年度事業計画（案）審査員選任

2)平成 22 年 6 月 22 日（火）開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

議事内容：平成 22 年度助成事業、講演会事業、福原氏理事就任について、（財）敬愛まちづ
くり財団からの寄付受入について、

3)平成 22 年 12 月 20 日（月）開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

議事内容：講演会事業、平成 21 年度助成事業成果報告会、六甲アイランド高校バレンタイン
キャンペーン、神戸新聞チャリティコンサート、市民ファンド連絡会

4)平成 23 年 1 月 14 日（金）開催場所：（株）築港・会議室

議事内容：KEC ファンド構想、新野幸次郎氏講演会、平成 23 年度事業計画案